

【開催報告】 第23回 竹と月夜の調べ

開催日時:2023年10月28日(土)18:00~20:00

開催場所:別府市竹細工伝統産業会館(別府市東荘園8丁目3組)

10月28日、第23回 竹と月夜の調べ を開催しました。

少し風がありましたが、お天気にも恵まれ、とてもきれいな月の光の下で、幻想的な竹あかりによる装飾と、大竹かごの制作実演、演奏会等のステージイベントを行い、約400名の方にご来場いただきました。

別府ならではの、編組でできた竹のオブジェを使った竹あかりや、竹灯ろうによる幻想的な様子を、ご来場の多くの方がスマートフォン等で撮影されていました。

大竹かごの制作は、別府竹製品協同組合の大鍛冶来未さんと松本綾香さんが行いました。長さ3メートル、幅2.5cmの大きなひごを使い、お二人で息を合わせて大竹かご「四海波」を編み上げ、観客の皆様から大きな拍手をいただきました。



四海波を編み上げる大鍛冶さんと松本さん

演奏会では、「あんさんぶるコスモ」の皆様による横笛と箏の和楽器の美しい演奏に加え、河内由揮さんのアコースティックギターと歌声に合わせ DOTECHIN さんのダンスが披露され、ダンスと一緒に体を動かす子どもたちの可愛い姿もありました。



あんさんぶるコスモの演奏



河内由揮 with DOTECHIN の演奏、パフォーマンス

また、今回は、別府大学食物栄養科学部 発酵食品学科のご協力により、「温泉水あまざけ」の無料配布を行いました。たくさんの方が、学生さんから配られたあまざけを召し上がられ、喜んでくださいました。

そして、竹細工伝統産業会館では、今回も、イベント開催時間に合わせて特別開館を行いました。市内在住の竹工芸家 梶原光峰、彩ご夫妻の作品展も開催中で、約150名の方が、常設展とともに鑑賞されました。ショップ&カフェでは、特別メニューとして、竹炭を使ったポップコーンの販売も行われ、好評を得ていました。

多数の皆様のご来場、誠にありがとうございました。

＊来場者数:約 400 名(参考:昨年度 約250名)



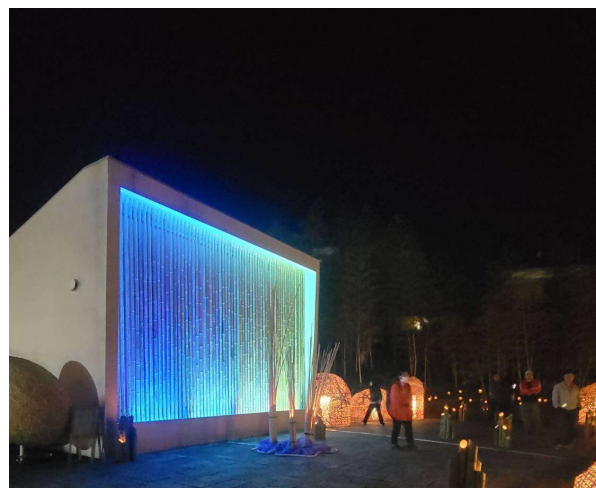
別府大学発酵食品学科の「温泉水あまざけ」配布ブース



ショップ&カフェの竹炭パウダーを使ったポップコーン



幻想的な竹あかりと秋の美しい月を同時に鑑賞



伝統産業会館のシンボル竹ルーバーもライトアップ